

各 位

名古屋市東区泉二丁目3番3号  
 ケイティケイ株式会社  
 代表取締役社長 伊藤 主計  
 (コード番号: 3035)  
 問合せ先: 取締役管理部長  
 木村 裕史  
 (TEL 052-931-1881)

平成18年5月期の業績予想について

本資料は、平成18年3月17日に発表したものと同一の内容であります。

平成18年5月期(平成17年5月21日～平成18年5月20日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【連結通期】

(単位:百万円、%)

項目	決算期	平成18年5月期 (予想)		平成17年5月期 (実績)		
		構成比	前年比		構成比	
売上高		10,264	100.0	100.6	10,198	100.0
経常利益		246	2.4	88.5	278	2.7
当期純利益		172	1.7	103.6	166	1.6
1株当たり当期純利益		47.00円			48.13円	

【単体通期】

(単位:百万円、%)

項目	決算期	平成18年5月期 (予想)		平成17年5月期 (実績)		
		構成比	前年比		構成比	
売上高		10,272	100.0	100.6	10,209	100.0
経常利益		244	2.4	89.1	274	2.7
当期純利益		171	1.7	104.3	164	1.6
1株当たり当期純利益		46.78円			47.29円	
1株当たり配当金		14.00円			7.50円	

- (注) 1. 平成17年5月期の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出し、平成18年5月期の1株当たり当期純利益は公募株式数を含めた予定期末発行済株式数3,675,000株により算出しております。
2. 平成18年5月期(予想)の1株当たり当期純利益の算定に際し、役員賞与金等、普通株主に帰属しない金額は、予想当期純利益より控除していません。

ご注意: この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

## 【平成18年5月期業績予想の前提条件】

### 1. 連結通期

(全般的な見通し)

当連結会計年度における我が国経済は、世界経済回復の後押しを受けて、企業収益の回復、雇用環境の改善や設備投資の増加など、ゆるやかながらも景気は回復基調にあります。一方では原油・鋼材価格の高騰など不安定材料も見られる状況といえます。当社の関連業界であるパーソナルコンピュータ市場は、「個人情報保護法」に関連するセキュリティー投資に企業の業績向上が加わり、リプレイス需要を中心に拡大しております。また、周辺機器であるプリンタの出荷もパーソナルコンピュータ市場の堅調に支えられて、カラープリンタやページ複合機の市場が急成長しております。

このような状況のなか、当社はトナーカートリッジのリサイクル（リパクトナー）、IT商品、当社独自のWeb受注システム「ケイティケイはつするネット」を主力に、豊富な商品ラインナップにて営業展開することによって、幅広い顧客へワンストップでトータルにサポートしてまいります。

(売上高)

売上高は、前期比100.6%の10,264百万円を見込んでおります。リサイクル商品であるリパクトナーが順調に推移するとともに、Web受注システム「ケイティケイはつするネット」を活用したステーションナリー商品の拡販、新規顧客獲得によるIT商品の売上増加を見込んでおります。

(売上総利益)

売上総利益は、品目区分ごとに、販売単価および仕入単価の推移、価格転嫁の可能性ならびに品目区分内での商品構成の変動を勘案することで売上総利益率の変動を予想し、前期比101.9%の2,322百万円を見込んでおります。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費は、多摩営業所開設にともなう人件費の増加、荷造運賃の増加、社内管理システム1次開発及び2次開発等にかかわるソフトウェアの減価償却費の計上により、前期比102.0%の2,033百万円を見込んでおります。

(営業外収益・費用)

営業外収益は、従業員社宅負担金等を見込んでおります。

営業外費用は、支払利息、不動産管理費ならびに株式上場関連経費により53百万円を見込んでおります。

(経常利益)

以上により、経常利益は246百万円を見込んでおります。

### 2. 単体通期

連結通期と同様の前提条件で業績予想を作成しております。

以上

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。